

埋立ごみが資源になる？

〜知ってなっとくこれからの分別〜 段ボール 新聞 雑誌 紙パック編

現在、町内から出る埋立ごみの大半が資源物なのです。それは、「分別が面倒・わからない」「洗うのが面倒」などの理由があります。このままでは、ごみが増えていく一方です。埋立ごみが増大すると、新たな埋立地が必要になり、建設費は10億円になるとも言われています。「下川町が下川町であり続けるため」ごみの分別にご協力をお願いします。皆さん、もう一度埋立ごみの中を覗いてみてください。あれば今すぐ分別しましょう。



●段ボール



●新聞・チラシ



●雑誌・本
パンフレット
コピー用紙



●紙パック
牛乳パック
酒のパック

洗って開いて乾かす

ヒモでしばってください

山火事注意

今年も山火事の発生しやすい季節となりました。入林される場合は、次の事項に注意し、絶対に山火事を発生させないようご協力願います。

危険期間
強調期間

4月25日〜6月30日
4月25日〜6月15日

今回で資源物のすべてを紹介しました。皆さん、分別はもう大丈夫ですよね？資源物として出すということは、カタチが変わって、皆さんのところへ戻ってくるということです。今、あなたが着ている服は、もしかしたら、あなたが分別してくれたペットボトルがもしもあれば、僕たちは役場にいますので、どんどん聞いてください。ではまた。

廃棄物処理場では、ごみの分別指導を行っています。

■入林される場合は、必ず入林許可を受けてください。国有林は、上川北部森林管理署、町有林は役場商工林務課(休日は当直室)で手続きしてください。

■入林される場合は、タバコの吸殻や灰などを林地に捨てないでください。

■危険期間中の火入れは、極力さけるとともに、必ず許可を受け、立会人の指示に従うようにしてください。

さよなら！
さよならさよなら！



林野火災

人の思いも

燃えつきる

林野火災予防標語

■下川中学校

長谷川伸一 教頭



美瑛町立美沢小学校より参りました教頭の長谷川伸一と申します。明るく素直な子どもたちと設備の充実した下川中学校で、地域に根ざした教育の推進に努めたいと決意を新たにしております。どうぞよろしくお願致します。

金庭 毅 教諭



初山別村立豊岬中学校から参りました金庭毅です。多くのスポーツ施設や温かい人々、おいしい食べ物や新鮮な空気に囲まれた下川にすぐ親しみがわきました。ここ下川で、子どもたちとともに成長していきたいと思えます。よろしくお願致します。

高橋 洋介 教諭



旭川市立神居東中学校から来ました高橋洋介です。教科は音楽と1年生の国語を担当させていたできます。子どもたちに音楽の授業や吹奏楽を通して素晴らしいことを伝えることができました。よろしくお願致します。